



# CHAPTER 11

## Cisco Unified Communications Manager ユーザを使用して複数の Cisco Unity Connection 8.x ユーザ アカウントを作成する方法

次の項を参照してください。

- 「Cisco Unity Connection 8.x ボイスメール ユーザの追加 (Cisco Unified CMBE 構成のみ)」 (P.11-1)
- 「Cisco Unified Communications Manager ユーザのインポートによる Cisco Unity Connection 8.x ユーザの作成 (Cisco Unified Communications Manager バージョン 5.x 以降)」 (P.11-2)
- 「Cisco Unity Connection 8.x と LDAP ディレクトリの統合と、Cisco Unified CM からのデータのインポートによるユーザ作成との比較」 (P.11-3)

### Cisco Unity Connection 8.x ボイスメール ユーザの追加 (Cisco Unified CMBE 構成のみ)

Cisco Unified Communications Manager Business Edition 構成のシステムに Cisco Unity Connection ボイスメール ユーザを追加するには、Cisco Unified Communications Manager からユーザをインポートします。

Cisco Unity Connection Administration の [ユーザ (Users)] > [ユーザをインポート (Import Users)] ページで Cisco Unified Communications Manager ユーザからボイスメール アカウントのある複数のユーザを作成します。また、ボイスメール アカウントのないアプリケーション ユーザを Connection にインポートできます。



(注)

Cisco Unified Communications Manager ユーザには、事前にプライマリ内線の定義が必要です。定義されていないユーザは、Cisco Unity Connection Administration の [ユーザ (Users)] > [ユーザをインポート (Import Users)] に表示されません。

この方法でユーザ アカウントを作成すると、Connection によって Cisco Unified CM からユーザのエイリアス、内線番号、名、姓が取得され、その他の情報はユーザによって指定されたユーザ テンプレートで補足します。Cisco Unified CM から取得したフィールドのデータは、Connection の管理を使用して変更できません。代わりに、Cisco Unified Communications Manager Administration で情報を変更します。

[ ユーザを同期化 (Synch Users) ] ページでは、[ ユーザをインポート (Import Users) ] ページを使用して作成したボイスメール ユーザに関する Cisco Unified CM の情報を手動でリフレッシュできます。

# Cisco Unified Communications Manager ユーザのインポートによる Cisco Unity Connection 8.x ユーザの作成 (Cisco Unified Communications Manager バージョン 5.x 以降)



(注)

ここでの説明は、Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) で Cisco Unity Connection ユーザ アカウントを作成するのに Cisco Unified Communications Manager をインポートする場合には該当しません。この場合は、「[Cisco Unity Connection 8.x ボイスメール ユーザの追加 \(Cisco Unified CMBE 構成のみ\)](#)」(P.11-1) を参照してください。

Connection では、Cisco Unified Communications Manager データベースにアクセスする場合、AXL サーバが必要であるため、インポート元の Cisco Unified CM サーバに AXL サーバを構成しておく必要があります。

ユーザをインポートする前に、Cisco Unity Connection サーバで次の手順を実行してください。

- ユーザ テンプレートを編集または追加します。テンプレートの [ 電話システム (Phone System) ] フィールドでインポート元の Cisco Unified CM サーバを選択します。
- ユーザのインポート元の Cisco Unified CM サーバに AXL サーバを構成します。AXL サーバの構成の詳細については、『[System Administration Guide for Cisco Unity Connection](#)』(Release 8.x) の「[Managing the Phone System Integrations in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。このドキュメントは、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html) から入手可能です。

Cisco Unity Connection Administration の [ ユーザ (Users) ] > [ ユーザをインポート (Import Users) ] ページで Cisco Unified CM ユーザからボイスメール アカウントのある複数のユーザを作成します。



(注)

Cisco Unified Communications Manager ユーザには、事前にプライマリ内線の定義が必要です。定義されていないユーザは、Cisco Unity Connection Administration の [ ユーザ (Users) ] > [ ユーザをインポート (Import Users) ] に表示されません。

この方法でユーザ アカウントを作成すると、Connection によって Cisco Unified CM からユーザのエイリアス、内線番号、名、姓が取得され、その他の情報はユーザによって指定されたユーザ テンプレートで補足します。Cisco Unified CM から取得したフィールドのデータは、Connection の管理を使用して変更できません。Connection のデータを更新するために使用する方法は、Cisco Unified CM が LDAP ディレクトリと統合されているかどうかに応じて異なります。

- *Cisco Unified CM が LDAP ディレクトリと統合されていない場合* : Cisco Unified Communications Manager Administration のデータを変更し、Connection の管理の [ ユーザを同期化 (Synch Users) ] ページを使用して、[ ユーザをインポート (Import Users) ] ページを使用して作成されたボイスメール ユーザの情報を Cisco Unified CM から手動で更新する必要があります。

- *Cisco Unified CM* が LDAP ディレクトリと統合されている場合 : LDAP ディレクトリのデータを更新し、Cisco Unified CM データベースを LDAP ディレクトリと再同期し、Connection の管理の [ユーザを同期化 (Synch Users)] ページを使用して、[ユーザをインポート (Import Users)] ページを使用して作成されたボイスメール ユーザの情報を Cisco Unified CM から手動で更新する必要があります。

## Cisco Unity Connection 8.x と LDAP ディレクトリの統合と、Cisco Unified CM からのデータのインポートによるユーザ作成との比較

データを Cisco Unified Communications Manager からインポートしてユーザを作成する代わりに、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Integrating Cisco Unity Connection 8.x with an LDAP Directory](#)」の章で説明されているように、Connection を LDAP ディレクトリと統合し、ユーザデータを LDAP ディレクトリからインポートする方法があります。このドキュメントは、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html) から入手可能です。次の点に注意してください。

- Cisco Unified CM からユーザをインポートした場合、および Cisco Unified CM が LDAP ディレクトリと統合されている場合、Connection では自動的に LDAP の同期化または認証へのアクセスが許可されることはありません。Connection ユーザを LDAP ディレクトリで認証する場合は、Connection を LDAP ディレクトリとも統合する必要があります。
- Cisco Unified CM からユーザをインポートする場合は、Cisco Unified CM データへの更新が自動的に Connection サーバに複製されることはないため、Cisco Unity Connection Administration の [ユーザを同期化 (Synch Users)] ページを使用して、随時 Connection ユーザデータを Cisco Unified CM ユーザデータと手動で同期する必要があります。Connection を LDAP ディレクトリと統合する場合は、Connection データベース内のデータが LDAP ディレクトリ内のデータと自動的に再同期される日時を指定する、同期スケジュールを定義できます。

LDAP ディレクトリにユーザを追加する場合は、Connection に手動でインポートする必要があることに注意してください。自動同期で Connection データベースが更新されるのは既存のユーザの新しいデータの場合だけで、新しいユーザの新しいデータの場合は更新されません。

- Connection を LDAP ディレクトリと統合する場合は、LDAP データベースで Web アプリケーションのパスワードを認証するよう、Connection を設定することができます。Cisco Unified CM からデータをインポートするときは、Connection で Connection Web アプリケーションのパスワードを保持し、Cisco Unified CM で Cisco Unified CM Web アプリケーションのパスワードを保持する必要があります。

